

平成30年 群馬県の人口動態統計概況 (概 数)



目 次

	ページ
【総 覧】	
1 人口動態の概要	1
第1表 人口動態総覧, 対前年・全国	
2 人口動態年次推移の概要	3
第1図 人口動態諸率の年次推移	
第2表 人口動態総覧, 率の年次推移・対全国	
【出 生】	
3 出生数・合計特殊出生率	5
第3表 母の年齢(5歳階級)別出生数・構成比, 対前年・全国	
第4表 合計特殊出生率の年次推移, 対全国	
【死 亡】	
4 死亡数	6
第5表 死亡数の年次推移, 性・年齢(5歳階級)別	
5 主要死因の概要	7
第2図 主要死因, 率(人口10万対)の年次推移	
第6表 十大死因順位, 対前年・全国	
第3図 死因別死亡割合, 対全国	
6 三大死因の概要	9
第7表 三大死因死亡数・死亡総数に占める割合, 性・年齢(10歳階級)別	
7 悪性新生物部位別死亡の概要	10
第8表 悪性新生物部位別死亡数・率・構成割合, 対前年・全国	
8 不慮の事故の概要	11
第9表 不慮の事故—交通事故の死亡者数・率・構成割合	
9 自殺の概要	12
第10表 自殺死亡者数・率・構成割合	
(参考) 1 県内市町村別人口動態諸率	13
2 人口動態総覧, 市町村・保健福祉事務所・二次保健医療圏別	14

【総 覧】

1 人口動態の概要

(1) 出 生 「出生数は減少し、率は全国を下回る。」

出生数は12,922人で、前年に比べ357人減少した。

出生率（人口千対）は6.8で前年より0.1ポイント低下。全国の7.4を0.6ポイント下回った。

(2) 死 亡 「死亡数は増加し、率は全国を上回る。」

死亡数は22,937人で、前年に比べ352人増加した。

死亡率（人口千対）は12.1で前年より0.3ポイント上昇。全国の11.0を1.1ポイント上回った。

(3) 乳 児 死 亡 「乳児死亡数は減少し、率は全国と同率。」

乳児死亡数は24人で、前年に比べ9人減少した。

乳児死亡率（出生千対）は1.9で前年より0.6ポイント低下。全国の1.9と同率だった。

(4) 自 然 増 加 「自然増加数は前年に続きマイナスで、率は全国を下回る。」

自然増加数はマイナス10,015人で、前年に比べ709人減少。前年に続いてマイナスとなった。

増加率（人口千対）はマイナス5.3で前年より0.4ポイント低下。全国のマイナス3.6を1.7ポイント下回った。

(5) 死 産 「死産数は増加し、率は全国を上回る。」

死産数は288胎で、前年に比べ8胎増加した。

死産率（出産千対）は21.8で前年より1.1ポイント上昇。全国の20.9を0.9ポイント上回った。

(6) 周 産 期 死 亡 「周産期死亡数は減少し、率は全国を下回る。」

周産期死亡数は28人で、前年に比べ27人減少した。

周産期死亡率〔出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対〕は2.2で、前年より1.9ポイント低下。全国の3.3を1.1ポイント下回った。

(7) 婚 姻 「婚姻件数は減少し、率は全国を下回る。」

婚姻件数は8,088組で、前年に比べ241組減少した。

婚姻率（人口千対）は4.3で前年より0.1ポイント低下。全国の4.7を0.4ポイント下回った。

(8) 離 婚 「離婚件数は減少し、率は全国を下回る。」

離婚件数は2,973組で、前年に比べ181組減少した。

離婚率（人口千対）は1.56で前年より0.09ポイント低下。全国の1.68を0.12ポイント下回った。

(9) 合計特殊出生率 「合計特殊出生率は前年と同率で、全国を上回る。」

合計特殊出生率は1.47で前年と同率。全国の1.42を0.05ポイント上回った。

(10) 平均初婚年齢 「平均初婚年齢は夫・妻ともに低下し、ともに全国より若い。」

平均初婚年齢は夫は30.9歳で前年より0.1歳、妻は29.1歳で前年より0.2歳それぞれ低下した。

夫は全国の31.1歳を0.2歳下回り、妻は全国の29.4歳を0.3歳下回った。

第1表 人口動態総覧，対前年・全国

項目	実数				率				平均発生間隔			
	群馬県		全国		群馬県		全国		群馬県		全国	
	平成30年	平成29年	平成30年	平成29年	平成30年	平成29年	平成30年	平成29年	平成30年	平成29年	平成30年	平成29年
出生	12,922	13,279	918,397	946,065	6.8	6.9	7.4	7.6	時分秒 0 : 40 : 40	分秒 0 : 39 : 35	時分秒 0 : 00 : 34	時分秒 0 : 00 : 33
男	6,665	6,836	470,849	484,449	7.1	7.2	7.8	8.0	1 : 18 : 52	1 : 16 : 53	0 : 01 : 07	0 : 01 : 05
女	6,257	6,443	447,548	461,616	6.5	6.6	7.0	7.2	1 : 24 : 00	1 : 21 : 35	0 : 01 : 11	0 : 01 : 08
死亡	22,937	22,585	1,362,482	1,340,397	12.1	11.8	11.0	10.8	0 : 22 : 55	0 : 23 : 16	0 : 00 : 23	0 : 00 : 24
男	11,748	11,727	699,144	690,683	12.5	12.4	11.6	11.4	0 : 44 : 44	0 : 44 : 49	0 : 00 : 45	0 : 00 : 46
女	11,189	10,858	663,338	649,714	11.6	11.2	10.4	10.2	0 : 46 : 58	0 : 48 : 24	0 : 00 : 48	0 : 00 : 49
乳児死亡	24	33	1,748	1,761	1.9	2.5	1.9	1.9	365 : 00 : 00	265 : 27 : 16	5 : 00 : 41	4 : 58 : 28
新生児死亡	8	17	801	832	0.6	1.3	0.9	0.9	1095 : 00 : 00	515 : 17 : 39	10 : 56 : 11	10 : 31 : 44
自然増加	△ 10,015	△ 9,306	△ 444,085	△ 394,332	△ 5.3	△ 4.9	△ 3.6	△ 3.2	…	…	…	…
死産	288	280	19,608	20,358	21.8	20.7	20.9	21.1	30 : 25 : 00	31 : 17 : 09	0 : 26 : 48	0 : 25 : 49
自然死産	132	137	9,247	9,738	10.0	10.1	9.9	10.1	66 : 21 : 49	63 : 56 : 30	0 : 56 : 50	0 : 53 : 58
人工死産	156	143	10,361	10,620	11.8	10.5	11.0	11.0	56 : 09 : 14	61 : 15 : 32	0 : 50 : 44	0 : 49 : 29
周産期死亡	28	55	3,046	3,308	2.2	4.1	3.3	3.5	312 : 51 : 26	159 : 16 : 22	2 : 52 : 33	2 : 38 : 53
妊娠満22週以後の死産	22	43	2,432	2,683	1.7	3.2	2.6	2.8	398 : 10 : 55	203 : 43 : 15	3 : 36 : 07	3 : 15 : 54
早期新生児死	6	12	614	625	0.5	0.9	0.7	0.7	1460 : 00 : 00	730 : 00 : 00	14 : 16 : 02	14 : 00 : 58
婚姻	8,088	8,329	586,438	606,866	4.3	4.4	4.7	4.9	1 : 04 : 59	1 : 03 : 06	0 : 00 : 54	0 : 00 : 52
離婚	2,973	3,154	208,333	212,262	1.56	1.65	1.68	1.70	2 : 56 : 48	2 : 46 : 39	0 : 02 : 31	0 : 02 : 29
合計特殊出生率	…	…	…	…	1.47	1.47	1.42	1.43	…	…	…	…
平均初婚年齢	夫	30.9	31.0	31.1	31.1	…	…	…	…	…	…	…
	妻	29.1	29.3	29.4	29.4	…	…	…	…	…	…	…

2 人口動態年次推移の概要

人口動態の率の年次推移をみると、出生率は昭和23年以降低下傾向を示し、その後昭和37～48年にかけて（昭和41年の「ひのえうま」を除く。）上昇傾向にあったが、昭和46～49年の第2次ベビーブーム期以降低下傾向に転じた。平成30年は6.8で前年より0.1ポイント低下した。

死亡率は、昭和23年以降低下傾向にあったが、近年は緩やかな上昇傾向を示している。平成30年は12.1で前年より0.3ポイント上昇した。

婚姻率は、9.7だった昭和47年以降低下傾向にあり、平成2年から上昇傾向に転じるが、平成12年以降は微増、微減を繰り返しながら低下傾向となっている。平成30年は4.3で前年より0.1ポイント低下した。

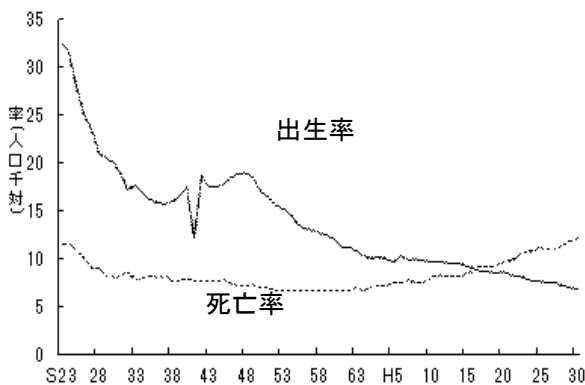
離婚率は、昭和37年の0.52を最低に上昇傾向にあり、平成14年に2.16と過去最高になったが、その後は微増、微減を繰り返しながら緩やかな低下傾向を示している。平成30年は1.56で前年より0.09ポイント低下した。

死産率は、昭和44年以降低下傾向にあるが、平成30年は21.8で前年より1.1ポイント上昇した。

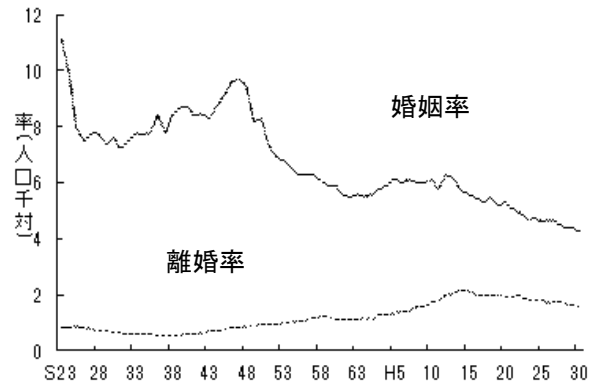
合計特殊出生率は、第2次ベビーブーム時の昭和49年に2.23を記録して以来、低下傾向にあり、平成16年には1.35まで低下したが、その後は増減を繰り返しながら緩やかに上昇し、近年は横ばい傾向にある。平成30年は1.47で前年と同率であった。

第1図 人口動態諸率の年次推移

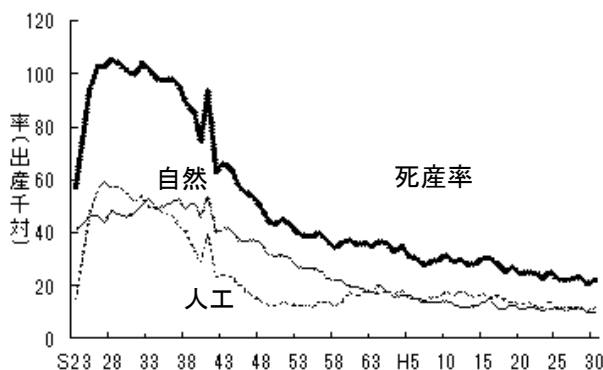
(1) 出生率・死亡率の年次推移



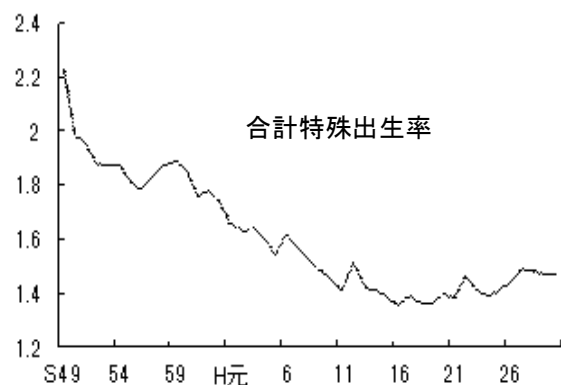
(2) 婚姻率・離婚の年次推移



(3) 死産率（自然・人工別）の年次推移



(4) 合計特殊出生率の年次推移



【出生】

3 出生数・合計特殊出生率

－「20～24歳」の出産数が増加－

平成30年の出生数は12,922人で、前年に比べ357人減少し、過去最少となった。

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、最も多かったのは「30～34歳」の4,534人で、全出生数のうち35.1%を占めた。次いで「25～29歳」の3,441人（全出生数の26.6%）、「35～39歳」の2,784人（同21.5%）の順であった。

対前年増減をみると、「20～24歳」は83人増加しており、「25～29歳」は133人減少、「30～34歳」は290人減少、「35～39歳」は9人減少、「40～44歳」は11人減少している。

第3表 母の年齢（5歳階級）別出生数・構成比，対前年・全国

	出生数					
	群馬県			全国		
	平成30年	平成29年	増減	平成30年	平成29年	増減
総数	12,922	13,279	△ 357	918,397	946,065	△ 27,668
～14歳	—	—	—	37	37	—
15～19歳	118	123	△ 5	8,740	9,861	△ 1,121
20～24歳	1,339	1,256	83	77,021	79,264	△ 2,243
25～29歳	3,441	3,574	△ 133	233,754	240,933	△ 7,179
30～34歳	4,534	4,824	△ 290	334,906	345,419	△ 10,513
35～39歳	2,784	2,793	△ 9	211,020	216,938	△ 5,918
40～44歳	680	691	△ 11	51,258	52,101	△ 843
45～49歳	26	15	11	1,591	1,450	141
50歳以上	—	3	△ 3	68	62	6
不詳	—	—	—	2	—	2
出生数の総数に占める割合（％）						
	群馬県			全国		
	平成30年	平成29年	増減	平成30年	平成29年	増減
総数	100.0	100.0	—	100.0	100.0	—
～14歳	—	—	—	0.0	0.0	0.0
15～19歳	0.9	0.9	△ 0.0	1.0	1.0	△ 0.1
20～24歳	10.4	9.5	0.9	8.4	8.4	0.0
25～29歳	26.6	26.9	△ 0.3	25.5	25.5	△ 0.0
30～34歳	35.1	36.3	△ 1.2	36.5	36.5	△ 0.0
35～39歳	21.5	21.0	0.5	23.0	22.9	0.0
40～44歳	5.3	5.2	0.1	5.6	5.5	0.1
45～49歳	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.0
50歳以上	—	0.0	△ 0.0	0.0	0.0	0.0

（注）総数には、母の年齢不詳を含む。

－合計特殊出生率は前年と同率－

平成30年の合計特殊出生率は、前年と同率の1.47であった。

全国では、平成30年は1.42で前年より0.1ポイント低下し、群馬県は5年連続で全国より高い数値となった。

第4表 合計特殊出生率の年次推移，対全国

	昭和35年	45	50	55	平成2年	7	12	17	22	23	24	25	26	27	28	29	平成30年
群馬県	2.03	2.16	1.99	1.81	1.63	1.56	1.51	1.39	1.46	1.41	1.39	1.41	1.44	1.49	1.48	1.47	1.47
全国	2.00	2.13	1.91	1.75	1.54	1.42	1.36	1.26	1.39	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42

【死 亡】

4 死亡数

－死亡数は男女ともに増加－

平成30年の死亡数は22,937人で、前年に比べ352人増加した。

これを性別にみると、男は21人、女は331人それぞれ増加した。

年齢別にみると、男は「75～79歳」、「90歳以上」で、女は「75～79歳」、「85～89歳」、「90歳以上」で増加が大きくなっている。

第5表 死亡数の年次推移、性・年齢（5歳階級）別

		死 亡 数			対前年増減		
		30年	29年	28年	30年－29年	29年－28年	
総 数	総 数	22,937	22,585	22,125		352	460
	0～4歳	33	46	31		△ 13	15
	5～9	5	2	10		3	△ 8
	10～14	15	8	7		7	1
	15～19	19	23	14		△ 4	9
	20～24	34	31	42		3	△ 11
	25～29	42	37	41		5	△ 4
	30～34	45	39	51		6	△ 12
	35～39	60	83	72		△ 23	11
	40～44	130	135	166		△ 5	△ 31
	45～49	240	197	218		43	△ 21
	50～54	279	333	270		△ 54	63
	55～59	403	411	428		△ 8	△ 17
	60～64	737	724	772		13	△ 48
	65～69	1,412	1,515	1,582		△ 103	△ 67
	70～74	2,020	1,910	1,778		110	132
	75～79	2,612	2,449	2,509		163	△ 60
80～84	3,651	3,743	3,728		△ 92	15	
85～89	4,693	4,674	4,563		19	111	
90歳以上	6,507	6,224	5,843		283	381	
不詳	—	1	—		△ 1	1	
男	総 数	11,748	11,727	11,486		21	241
	0～4歳	19	28	19		△ 9	9
	5～9	4	1	6		3	△ 5
	10～14	7	6	4		1	2
	15～19	11	15	9		△ 4	6
	20～24	25	25	32		0	△ 7
	25～29	32	23	28		9	△ 5
	30～34	32	25	34		7	△ 9
	35～39	40	58	49		△ 18	9
	40～44	87	91	98		△ 4	△ 7
	45～49	150	121	152		29	△ 31
	50～54	174	219	193		△ 45	26
	55～59	280	286	283		△ 6	3
	60～64	537	512	545		25	△ 33
	65～69	1,001	1,078	1,085		△ 77	△ 7
	70～74	1,376	1,322	1,211		54	111
	75～79	1,661	1,588	1,602		73	△ 14
80～84	2,091	2,171	2,135		△ 80	36	
85～89	2,229	2,283	2,245		△ 54	38	
90歳以上	1,992	1,875	1,756		117	119	
不詳	—	—	—		0	0	
女	総 数	11,189	10,858	10,639		331	219
	0～4歳	14	18	12		△ 4	6
	5～9	1	1	4		0	△ 3
	10～14	8	2	3		6	△ 1
	15～19	8	8	5		0	3
	20～24	9	6	10		3	△ 4
	25～29	10	14	13		△ 4	1
	30～34	13	14	17		△ 1	△ 3
	35～39	20	25	23		△ 5	2
	40～44	43	44	68		△ 1	△ 24
	45～49	90	76	66		14	10
	50～54	105	114	77		△ 9	37
	55～59	123	125	145		△ 2	△ 20
	60～64	200	212	227		△ 12	△ 15
	65～69	411	437	497		△ 26	△ 60
	70～74	644	588	567		56	21
	75～79	951	861	907		90	△ 46
80～84	1,560	1,572	1,593		△ 12	△ 21	
85～89	2,464	2,391	2,318		73	73	
90歳以上	4,515	4,349	4,087		166	262	
不詳	—	1	—		△ 1	1	

(注) 総数には年齢不詳を含む。

5 主要死因の概要

－「老衰」は上昇傾向－

平成29年から死因統計に使用する分類が変更されたことに伴い、死因を選択する統計上のルールも変更されている。死因別死亡数の一部にみられる数値の大幅な変更には、これらの影響による変動が含まれていることに御留意願いたい。

主な死因の年次推移をみると、「**悪性新生物<腫瘍>**」は昭和60年から死因順位の第1位となっている。平成30年は死亡数・率ともに前年を上回り、死亡率は全国を上回っている。

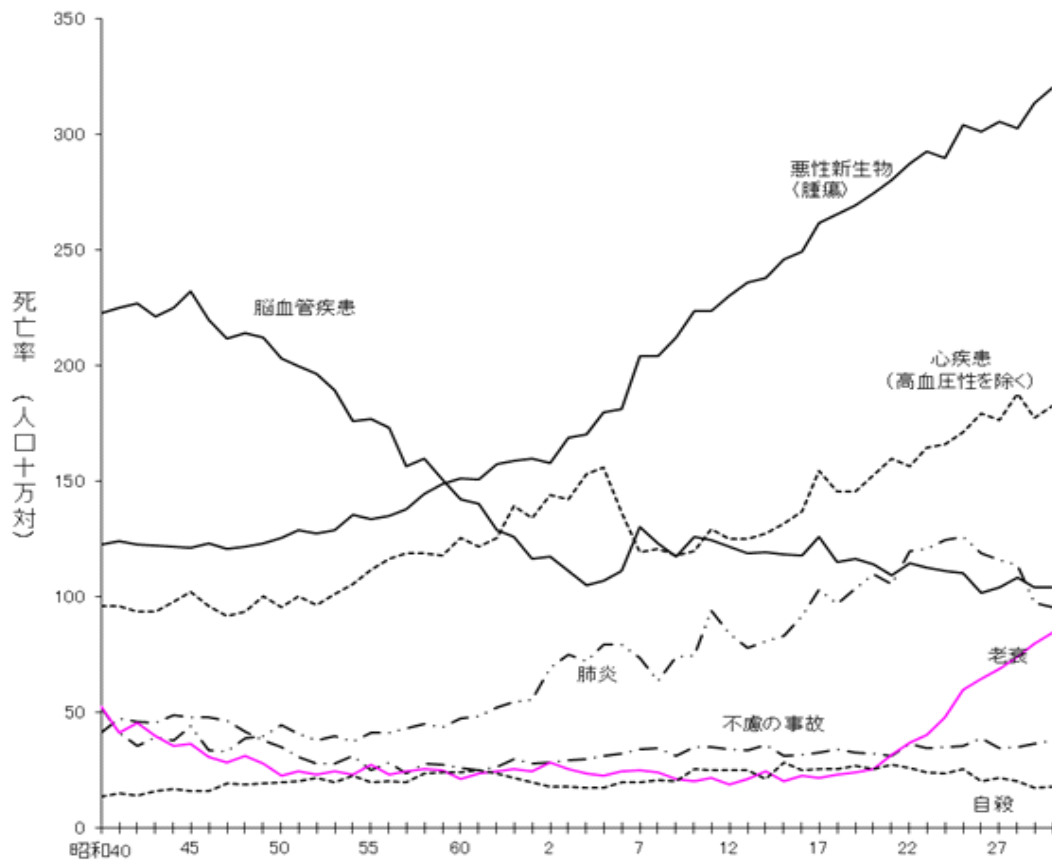
第2位の「**心疾患（高血圧性を除く）**」は、昭和63年に「**脳血管疾患**」と順位を入れ替え第2位になった。平成7年、8年及び10年には第3位となったが、11年から再び第2位となり、その後、死亡率の上昇低下を繰り返しながらも上昇傾向が続いている。

第3位の「**脳血管疾患**」は、昭和60年に第1位から第2位に、63年には第3位となり、低下傾向が続いていたが、平成5年から上昇し、7年、8年、10年には第2位となった。11年以降は第3位で、死亡率の上昇低下を繰り返しながらも緩やかな減少傾向にあった。22年に「**肺炎**」と順位を入れ替え第4位となったが、29年に再び「**肺炎**」と順位を入れ替え第3位になっている。

第4位の「**肺炎**」は、昭和49年に「**不慮の事故**」と順位を入れ替え第4位となった。その後死亡率は上昇と低下を繰り返しながらも徐々に上昇していき、平成22年以降は「**脳血管疾患**」と順位を入れ替え第3位となったが、29年に再び4位になった。

第5位の「**老衰**」は昭和40年以降緩やかな低下傾向が続き、その後ほぼ横這いであったが、平成17年以降上昇傾向となり、平成21年には「**不慮の事故**」「**自殺**」と順位を入れ替え、第5位になった。

第2図 主要死因，率（人口10万対）の年次推移



(注) 平成6年までの「心疾患（高血圧性を除く）」は、「心疾患」である。

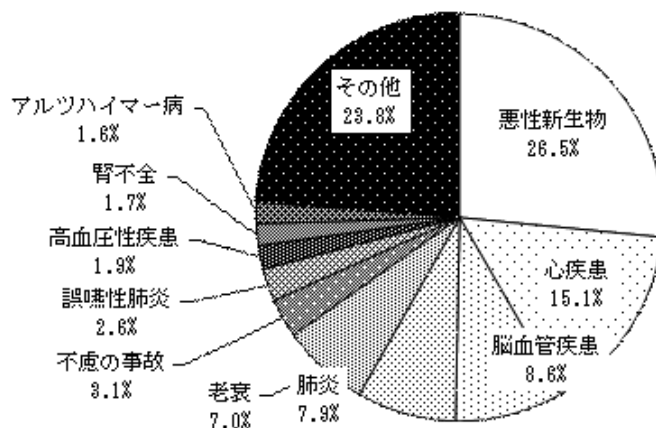
第6表 十大死因順位, 対前年・全国

区分	死因順位	死因	平成30年			平成29年		
			死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡総数に 占める割合(%)	死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡総数に 占める割合(%)
群馬県	第1位	悪性新生物	6,087	320.2	26.5	5,994	313.3	26.5
	2	心疾患	3,473	182.7	15.1	3,396	177.5	15.0
	3	脳血管疾患	1,981	104.2	8.6	1,990	104.0	8.8
	4	肺炎	1,811	95.3	7.9	1,859	97.2	8.2
	5	老衰	1,604	84.4	7.0	1,528	79.9	6.8
	6	不慮の事故	718	37.8	3.1	599	31.3	2.7
	7	誤嚥性肺炎	592	31.1	2.6	556	29.1	2.5
	8	高血圧性疾患	432	22.7	1.9	408	21.3	1.8
	9	腎不全	396	20.8	1.7	385	20.1	1.7
	10	アルツハイマー病	378	19.9	1.6	353	18.5	1.6
		その他	5,465	287.5	23.8	5,517	288.4	24.4
	全死因	22,937	1,206.6	100.0	22,585	1,180.6	100.0	
全国	第1位	悪性新生物	373,547	300.7	27.4	373,334	299.5	27.9
	2	心疾患	208,210	167.6	15.3	204,837	164.3	15.3
	3	老衰	109,606	88.2	8.0	101,396	81.3	7.6
	4	脳血管疾患	108,165	87.1	7.9	109,880	88.2	8.2
	5	肺炎	94,654	76.2	6.9	96,841	77.7	7.2
	6	不慮の事故	41,213	33.2	3.0	40,329	32.4	3.0
	7	誤嚥性肺炎	38,462	31.0	2.8	35,788	28.7	2.7
	8	腎不全	26,080	21.0	1.9	25,134	20.2	1.9
	9	血管性等の認知症	20,526	16.5	1.5	19,546	15.7	1.5
	10	自殺	20,032	16.1	1.5	20,465	16.4	1.5
		その他	321,987	259.2	23.6	312,847	251.0	23.3
	全死因	1,362,482	1,096.8	100.0	1,340,397	1,075.3	100.0	

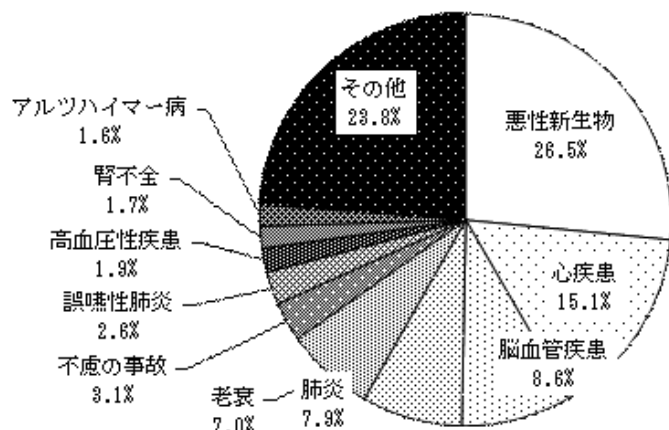
注1 死因分類は、平成29年は「ICD-10 (2013年板準拠)」、平成28年は「ICD-10 (2003年板準拠による。)」
 注2 「誤嚥性肺炎」は平成29年から死因順位に用いる分類項目に追加。平成28年の死亡数(人)はJ69固形物及び液状物による肺臓炎の数値である。

第3図 死因別死亡割合, 対全国

(1) 群馬県



(2) 全国



6 三大死因の概要

－悪性新生物<腫瘍>による死亡者は男女ともに減少－

平成22年以降、三大死因は悪性新生物、心疾患、肺炎だったが、平成29年から悪性新生物、心疾患、脳血管疾患となった。三大死因による死亡数は11,541人で前年に比べ161人増加した。男は6,111人で前年に比べ13人減少、女は5,430人で前年に比べ174人増加した。また、全死亡数に占める割合は50.3%で、前年の50.4%より0.1ポイント低下している。

なお、平成30年（概数）の全国の3大死因は、悪性新生物、心疾患、老衰であった。

〔悪性新生物<腫瘍>〕 6,087人で前年に比べ93人増加した。男は3,525人で前年に比べ33人減少し、女は2,562人で前年に比べ126人増加した。全死亡数に占める割合は26.5%で前年と同率、全国の27.4%を0.9ポイント下回った。

〔心疾患（高血圧性を除く）〕 3,473人で前年に比べ77人増加した。男は1,647人で前年に比べ16人増加し、女は1,826人で61人増加した。全死亡数に占める割合は15.1%で前年の15.0%より0.1ポイント上昇、全国の15.3%を0.2ポイント下回った。

〔脳血管疾患〕 1,981人で前年に比べ9人減少した。男は939人で前年に比べ4人増加し、女は1,042人で13人減少した。全死因に占める割合は8.6%で前年の8.8%より0.2ポイント低下、全国の7.9%を0.7ポイント上回った。

第7表 三大死因死亡数・死亡総数に占める割合、性・年齢（10歳階級）別

(1) 死因・年齢・性別死亡数

		総数	～19歳	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	65歳～再掲	29年総数
死亡総数	総数	22,937	72	76	105	370	682	2,149	4,632	14,851	20,895	22,585
	男	11,748	41	57	72	237	454	1,538	3,037	6,312	10,350	11,727
	女	11,189	31	19	33	133	228	611	1,595	8,539	10,545	10,858
三大死因	総数	11,541	15	8	31	199	418	1,402	2,800	6,668	10,372	11,380
	男	6,111	10	5	16	107	258	964	1,831	2,920	5,361	6,124
	女	5,430	5	3	15	92	160	438	969	3,748	5,011	5,256
悪性新生物	総数	6,087	9	6	20	124	276	997	1,782	2,873	5,299	5,994
	男	3,525	5	4	8	55	149	657	1,160	1,487	3,062	3,558
	女	2,562	4	2	12	69	127	340	622	1,386	2,237	2,436
心疾患	総数	3,473	6	2	5	41	90	255	640	2,434	3,238	3,396
	男	1,647	5	1	4	27	74	210	422	904	1,461	1,631
	女	1,826	1	1	1	14	16	45	218	1,530	1,777	1,765
脳血管疾患	総数	1,981	-	-	6	34	52	150	378	1,361	1,835	1,990
	男	939	-	-	4	25	35	97	249	529	838	935
	女	1,042	-	-	2	9	17	53	129	832	997	1,055

(注) 総数には年齢不詳を含む。

(2) 死因・年齢・性別構成割合 (%)

		総数	～19歳	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	65歳～再掲	29年総数	全国30年
死亡総数	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	男	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	女	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
三大死因	総数	50.3	20.8	10.5	29.5	53.8	61.3	65.2	60.4	44.9	49.6	50.4	50.6
	男	52.0	24.4	8.8	22.2	45.1	56.8	62.7	60.3	46.3	51.8	52.2	52.8
	女	48.5	16.1	15.8	45.5	69.2	70.2	71.7	60.8	43.9	47.5	48.4	48.4
悪性新生物	総数	26.5	12.5	7.9	19.0	33.5	40.5	46.4	38.5	19.3	25.4	26.5	27.4
	男	30.0	12.2	7.0	11.1	23.2	32.8	42.7	38.2	23.6	29.6	30.3	31.3
	女	22.9	12.9	10.5	36.4	51.9	55.7	55.6	39.0	16.2	21.2	22.4	23.4
心疾患	総数	15.1	8.3	2.6	4.8	11.1	13.2	11.9	13.8	16.4	15.5	15.0	15.3
	男	14.0	12.2	1.8	5.6	11.4	16.3	13.7	13.9	14.3	14.1	13.9	14.0
	女	16.3	3.2	5.3	3.0	10.5	7.0	7.4	13.7	17.9	16.9	16.3	16.6
脳血管疾患	総数	8.6	-	-	5.7	9.2	7.6	7.0	8.2	9.2	8.8	8.8	7.9
	男	4.1	-	-	3.8	6.8	5.1	4.5	5.4	3.6	4.0	8.0	7.5
	女	4.5	-	-	1.9	2.4	2.5	2.5	2.8	5.6	4.8	9.7	8.4

7 悪性新生物部位別死亡の概要

－死亡率が高いのは「肺」－

悪性新生物による死亡について部位別にみると、死亡率が高いのは「肺」で、次いで「大腸」、「胃」、「膵」、「肝」の順となっている。

対前年増減を見ると、「胃」、「膵」、「子宮」は減少し、「肝」、「肺」、「大腸」、「乳房」は増加した。

第8表 悪性新生物部位別死亡数・率・構成割合，対前年・全国

	群馬県					
	実数		率（人口10万対）		構成割合	
	平成30年	平成29年	平成30年	平成29年	平成30年	平成29年
悪性新生物総数	6,087	5,994	320.2	313.3	100.0	100.0
男	3,525	3,558	375.4	376.5	100.0	100.0
女	2,562	2,436	266.3	251.4	100.0	100.0
胃	741	808	39.0	42.2	12.2	13.5
男	475	544	50.6	57.6	13.5	15.3
女	266	264	27.7	27.2	10.4	10.8
肝	419	414	22.0	21.6	6.9	6.9
男	259	284	27.6	30.1	7.3	8.0
女	160	130	16.6	13.4	6.2	5.3
膵臓	497	552	26.1	28.9	8.2	9.2
男	238	281	25.3	29.7	6.8	7.9
女	259	271	26.9	28.0	10.1	11.1
肺	1,208	1,156	63.5	60.4	19.8	19.3
男	860	821	91.6	86.9	24.4	23.1
女	348	335	36.2	34.6	13.6	13.8
大腸	894	862	47.0	45.1	14.7	14.4
男	472	462	50.3	48.9	13.4	13.0
女	422	400	43.9	41.3	16.5	16.4
乳房	229	201	12.0	10.5	3.8	3.4
男	1	1	0.1	0.1	0.0	0.0
女	228	200	23.7	20.6	8.9	8.2
子宮	108	110	11.2	11.4	4.2	4.5

	全国					
	実数		率（人口10万対）		構成割合	
	平成30年	平成29年	平成30年	平成29年	平成30年	平成29年
悪性新生物総数	373,547	373,334	300.7	299.5	100.0	100.0
男	218,605	220,398	361.6	363.2	100.0	100.0
女	154,942	152,936	243.0	239.1	100.0	100.0
胃	44,189	45,226	35.6	36.3	11.8	12.1
男	28,841	29,745	47.7	49.0	13.2	13.5
女	15,348	15,481	24.1	24.2	9.9	10.1
肝	25,922	27,114	20.9	21.8	6.9	7.3
男	17,030	17,822	28.2	29.4	7.8	8.1
女	8,892	9,292	13.9	14.5	5.7	6.1
膵臓	35,386	34,224	28.5	27.5	9.5	9.2
男	17,936	17,401	29.7	28.7	8.2	7.9
女	17,450	16,823	27.4	26.3	11.3	11.0
肺	74,322	74,120	59.8	59.5	19.9	19.9
男	52,400	53,002	86.7	87.4	24.0	24.0
女	21,922	21,118	34.4	33.0	14.1	13.8
大腸	50,656	50,681	40.8	40.7	13.6	13.6
男	27,098	27,334	44.8	45.0	12.4	12.4
女	23,558	23,347	36.9	36.5	15.2	15.3
乳房	14,652	14,384	11.8	11.5	3.9	3.9
男	...	99	...	0.2	...	0.0
女	14,652	14,285	23.0	22.3	9.5	9.3
子宮	6,799	6,611	10.7	10.3	4.4	4.3

注 1 「肺」：気管、気管支及び肺

2 「大腸」：結腸、直腸 S 状結腸移行部及び直腸

8 不慮の事故の概要

－不慮の事故による死亡者、交通事故による死亡者はともに増加－

不慮の事故による死亡者数は718人で、前年に比べ19人増加した。死亡率（人口10万対）は37.8で、前年より1.0ポイント上昇し、全国の33.2を4.6ポイント上回った。

このうち交通事故による死亡者数は95人で、前年より1人増加した。死亡率は5.0で、前年より0.1ポイント上昇し、全国の3.7を1.3ポイント上回った。

不慮の事故のうち、交通事故の占める割合は13.2%で、前年より0.2ポイント低下した。交通事故の死亡者割合を年齢構成別で見ると、60歳以上が62.1%を占めている。

第9表 不慮の事故－交通事故の死亡者数・率・構成割合

(1) 不慮の事故－交通事故死亡者数・率（人口10万対），対全国

	不慮の事故						うち交通事故					
	群馬県			全国			群馬県			全国		
	死亡数	率	順位	死亡数	率	死亡数	率	順位	割合(%)	死亡数	率	割合(%)
平成30年	718	37.8	26	41,213	33.2	95	5.0	…	13.2	4,596	3.7	11.2
平成29年	699	36.8	27	40,329	32.4	94	4.9	…	13.4	5,004	4.0	12.4
平成28年	673	34.9	29	38,306	30.6	88	4.6	30	13.1	5,278	4.2	13.8
平成27年	664	34.3	28	38,306	30.6	90	4.6	33	13.6	5,646	4.5	14.7
平成26年	751	38.7	23	39,029	31.1	96	4.9	32	12.8	5,717	4.6	14.6
平成25年	695	35.6	27	39,574	31.5	102	5.2	31	14.7	6,060	4.8	15.3
平成24年	688	35.1	32	41,031	32.6	130	6.6	17	18.9	6,414	5.1	15.6
平成23年	674	34.3	34	59,416	47.1	137	7.0	18	20.3	6,741	5.3	11.3
平成22年	713	36.2	29	40,732	32.2	137	6.9	25	19.2	7,222	5.7	17.7
平成21年	617	31.3	33	37,756	30.0	125	6.3	29	20.3	7,309	5.8	19.4
平成20年	633	32.1	35	38,153	30.3	143	7.2	27	22.6	7,499	6.0	19.7
平成19年	644	32.5	31	37,874	30.0	155	7.8	25	24.1	8,192	6.5	21.6
平成18年	672	33.9	28	38,270	30.3	200	10.1	9	29.8	9,048	7.2	23.6
平成17年	651	32.7	36	39,863	31.6	196	9.9	18	30.1	10,028	7.9	25.2
平成16年	634	31.7	31	38,193	30.3	174	8.7	33	27.4	10,551	8.4	27.6
平成15年	626	31.3	35	38,714	30.7	205	10.3	21	32.7	10,913	8.7	28.2
平成14年	717	35.9	24	38,643	30.7	235	11.8	17	32.8	11,743	9.3	30.4
平成13年	677	33.9	32	39,496	31.4	221	11.1	27	32.6	12,378	9.8	31.3
平成12年	677	33.9	33	39,484	31.4	262	13.1	15	38.7	12,857	10.2	32.6
平成11年	701	35.1	26	40,079	32.0	222	11.1	33	31.7	13,111	10.5	32.7

注1 割合は、不慮の事故中、交通事故の占める割合である。

2 交通事故の死亡数は、数値の捉え方の違いにより警察庁の数値と一致しない。
（警察庁は24時間以内死亡を原則としている。）

(2) 交通事故死亡者数 年齢（10歳階級）別実数・割合(%)

		総数	～9歳	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	不詳
群馬県	総数	95	1	3	4	4	15	9	8	17	34	-
	実数 男	75	1	2	4	4	15	7	7	12	23	-
	女	20	-	1	-	-	-	2	1	5	11	-
群馬県	総数	100.0	1	3.2	4.2	4.2	15.8	9.5	8.4	17.9	35.8	-
	割合 男	100.0	1	2.7	5.3	5.3	20.0	9.3	9.3	16.0	30.7	-
	(%) 女	100.0	-	5	-	-	-	10.0	5.0	25.0	55.0	-
群馬県	(参考) 総数	100.0	1	3.1	8.3	5.2	7.3	9.4	13.5	27.1	26.0	-
	29年割合 男	100.0	2	4.8	11.1	4.8	9.5	11.1	17.5	17.5	23.8	-
	(%) 女	100.0	-	-	3.0	6.1	3.0	6.1	6.1	45.5	30.3	-

9 自殺の概要

－自殺による死亡者は増加－

自殺による死亡者数は339人で、前年に比べ7人増加した。死亡率（人口10万対）は17.8で、前年より0.4ポイント上昇し、全国の16.1を1.7ポイント上回っている。

男女別の死亡数を昨年と比較してみると、男が8人増加し、女が1人減少している。年代別の割合でみると、40歳代、60歳代、70歳代の順に多い。

第10表 自殺死亡者数・率・構成割合

(1) 自殺死亡者数・率(人口10万対)，対全国

	群馬県							全国					
	実数			率			順位	実数			率		
	総数	男	女	総数	男	女		総数	総数	男	女	総数	男
平成30年	339	238	101	17.8	25.3	10.5	11	20,032	13,854	6,178	16.1	22.9	9.7
平成29年	332	230	102	17.4	24.3	10.5	15	20,465	14,333	6,132	16.4	23.6	9.6
平成28年	390	262	128	20.2	27.6	13.1	6	21,017	14,639	6,378	16.8	24.1	9.9
平成27年	418	293	125	21.6	30.7	12.7	7	23,152	16,202	6,950	18.5	26.6	10.8
平成26年	396	263	133	20.4	27.5	13.5	14	24,417	16,875	7,542	19.5	27.6	11.7
平成25年	492	335	157	25.2	34.9	15.9	5	26,063	18,158	7,905	20.7	29.7	12.3
平成24年	459	326	133	23.4	33.8	13.4	9	26,433	18,485	7,948	21.0	30.1	12.3
平成23年	476	338	138	24.2	34.9	13.8	17	28,896	19,904	8,992	22.9	32.4	13.9
平成22年	508	366	142	25.8	37.7	14.2	11	29,554	21,028	8,526	23.4	34.2	13.2
平成21年	538	398	140	27.3	41.1	14.0	13	30,707	22,189	8,518	24.4	36.2	13.2
平成20年	505	370	135	25.6	38.1	13.5	19	30,229	21,546	8,683	24.0	35.1	13.5
平成19年	527	371	156	26.6	38.1	15.5	13	30,827	22,007	8,820	24.4	35.8	13.7
平成18年	503	367	136	25.3	37.6	13.5	22	29,921	21,419	8,502	23.7	34.8	13.2
平成17年	503	361	142	25.3	36.9	14.1	21	30,553	22,236	8,317	24.2	36.1	12.9
平成16年	494	379	115	24.7	38.5	11.4	22	30,247	21,955	8,292	24.0	35.6	12.8
平成15年	562	397	165	28.1	40.3	16.3	12	32,109	23,396	8,713	25.5	38.0	13.5
平成14年	488	345	143	24.4	35.0	14.1	23	29,949	21,677	8,272	23.8	35.2	12.8
平成13年	497	333	164	24.9	33.8	16.2	13	29,375	21,085	8,290	23.3	34.2	12.9
平成12年	494	335	159	24.7	34.0	15.7	21	30,251	21,656	8,595	24.1	35.2	13.4
平成11年	494	355	139	24.7	36.0	13.7	22	31,413	22,402	9,011	25.0	36.5	14.1

(2) 自殺死亡者数 年齢(10歳階級)別実数・割合(%)

		総数	～9歳	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	不詳
群	総数	339	-	12	43	38	62	46	55	50	33	-
	実数 男	238	-	7	34	30	47	30	39	33	18	-
	女	101	-	5	9	8	15	16	16	17	15	-
馬	総数	100.0	-	3.5	12.7	11.2	18.3	13.6	16.2	14.7	9.7	-
	割合 男	100.0	-	2.9	14.3	12.6	19.7	12.6	16.4	13.9	7.6	-
	(%) 女	100.0	-	5.0	8.9	7.9	14.9	15.8	15.8	16.8	14.9	-
県	(参考) 総数	100.0	-	3.3	10.2	11.4	15.4	17.2	16.0	14.2	12.3	-
	29年割合 男	100.0	-	3.5	10.4	13.5	15.7	19.1	15.7	13.0	9.1	-
	(%) 女	100.0	-	2.9	9.8	6.9	14.7	12.7	16.7	16.7	19.6	-

(参考) 1 県内市町村別人口動態諸率

出生率		順位	死亡率		順位	婚姻率		順位	離婚率		順位
吉岡町	9.6	1	南牧村	36.5	1	伊勢崎市	5.1	1	長野原町	2.09	1
上野村	8.0	2	神流町	28.1	2	吉岡町	4.9	2	高山村	1.99	2
太田市	7.7	3	上野村	25.9	3	高崎市	4.7	3	昭和村	1.96	3
榛東村	7.7	4	下仁田町	21.9	4	太田市	4.6	4	伊勢崎市	1.89	4
高崎市	7.4	5	みなかみ町	18.6	5	長野原町	4.6	5	みどり市	1.86	5
伊勢崎市	7.4	6	中之条町	17.4	6	大泉町	4.4	6	吉岡町	1.84	6
大泉町	7.4	7	片品村	17.3	7	玉村町	4.4	7	太田市	1.76	7
昭和村	7.1	8	東吾妻町	17.0	8	前橋市	4.3	8	草津町	1.74	8
前橋市	7.1	9	長野原町	15.6	9	榛東村	4.2	9	中之条町	1.63	9
高山村	6.8	10	板倉町	15.5	10	みどり市	4.2	10	安中市	1.61	10
玉村町	6.7	11	桐生市	15.5	11	草津町	3.8	11	館林市	1.60	11
みどり市	6.6	12	安中市	15.1	12	邑楽町	3.8	12	高崎市	1.51	12
嬭恋村	6.5	13	高山村	15.1	13	館林市	3.6	13	大泉町	1.51	13
甘楽町	5.8	14	草津町	15.0	14	沼田市	3.6	14	前橋市	1.49	14
明和町	5.8	15	沼田市	15.0	15	明和町	3.6	15	沼田市	1.44	15
渋川市	5.6	16	昭和村	14.9	16	千代田町	3.4	16	桐生市	1.40	16
沼田市	5.6	17	嬭恋村	14.5	17	高山村	3.4	17	東吾妻町	1.30	17
藤岡市	5.6	18	渋川市	14.4	18	渋川市	3.4	18	邑楽町	1.30	18
中之条町	5.6	19	川場村	14.1	19	藤岡市	3.4	19	渋川市	1.26	19
千代田町	5.6	20	富岡市	14.0	20	安中市	3.2	20	榛東村	1.25	20
館林市	5.5	21	千代田町	13.0	21	富岡市	3.1	21	富岡市	1.22	21
富岡市	5.4	22	甘楽町	12.7	22	桐生市	3.0	22	明和町	1.19	22
安中市	5.0	23	藤岡市	12.5	23	片品村	2.9	23	甘楽町	1.17	23
桐生市	4.7	24	明和町	12.1	24	みなかみ町	2.9	24	藤岡市	1.17	24
片品村	4.6	25	館林市	11.6	25	中之条町	2.8	25	玉村町	1.16	25
邑楽町	4.5	26	榛東村	11.3	26	甘楽町	2.8	26	千代田町	1.08	26
草津町	4.4	27	みどり市	11.2	27	昭和村	2.8	27	嬭恋村	1.05	27
みなかみ町	4.4	28	前橋市	11.0	28	上野村	2.7	28	上野村	0.89	28
川場村	4.2	29	高崎市	10.8	29	下仁田町	2.6	29	みなかみ町	0.88	29
長野原町	3.8	30	太田市	10.3	30	南牧村	2.3	30	川場村	0.84	30
東吾妻町	3.7	31	邑楽町	10.1	31	嬭恋村	2.2	31	板倉町	0.76	31
板倉町	3.3	32	伊勢崎市	9.9	32	川場村	2.0	32	下仁田町	0.74	32
下仁田町	2.2	33	玉村町	8.6	33	板倉町	1.7	33	南牧村	0.57	33
神流町	1.2	34	大泉町	8.5	34	東吾妻町	1.6	34	片品村	0.49	34
南牧村	1.1	35	吉岡町	8.2	35	神流町	0.6	35	神流町	-	35

注：市町村別の率の算出に当たっては、平成30年10月1日現在の群馬県移動人口調査結果を使用した。

市町村別順位については、同率であった場合、表示桁数以下の数値により順位を付している。

(参考) 2 人口動態総覧, 市町村・保健福祉事務所・二次保健医療圏別

【市町村・保健福祉事務所別】

区 分	人 口 30.10.1現在	出 生 数				死 亡 数			自 然 増加数	乳 児 死亡数 1年未満	新生児 死亡数 4週未満
		総数	男	女	2.5kg未 満(再掲)	総数	男	女			
総 計	1,949,440	12,922	6,665	6,257	1,271	22,937	11,748	11,189	△ 10,015	24	8
市 計	1,661,866	11,223	5,794	5,429	1,086	19,280	9,929	9,351	△ 8,057	20	7
町村計	287,574	1,699	871	828	185	3,657	1,819	1,838	△ 1,958	4	1
前橋市保健所	334,261	2,358	1,201	1,157	217	3,681	1,919	1,762	△ 1,323	3	2
前橋市	334,261	2,358	1,201	1,157	217	3,681	1,919	1,762	△ 1,323	3	2
渋川保健福祉事務所	111,617	744	366	378	78	1,427	725	702	△ 683	1	1
渋川市	75,453	424	208	216	47	1,086	555	531	△ 662	1	1
榛東村	14,373	110	52	58	10	162	87	75	△ 52	—	—
吉岡町	21,791	210	106	104	21	179	83	96	31	—	—
伊勢崎保健福祉事務所	246,905	1,798	925	873	199	2,389	1,234	1,155	△ 591	6	3
伊勢崎市	210,614	1,555	798	757	169	2,077	1,072	1,005	△ 522	6	3
玉村町	36,291	243	127	116	30	312	162	150	△ 69	—	—
高崎市保健所	369,733	2,752	1,438	1,314	264	3,997	2,063	1,934	△ 1,245	5	—
高崎市	369,733	2,752	1,438	1,314	264	3,997	2,063	1,934	△ 1,245	5	—
安中保健福祉事務所	56,362	280	149	131	23	852	433	419	△ 572	—	—
安中市	56,362	280	149	131	23	852	433	419	△ 572	—	—
藤岡保健福祉事務所	67,061	371	180	191	33	878	451	427	△ 507	1	—
藤岡市	64,234	360	175	185	33	801	416	385	△ 441	1	—
上野村	1,119	9	5	4	—	29	15	14	△ 20	—	—
神流町	1,708	2	—	2	—	48	20	28	△ 46	—	—
富岡保健福祉事務所	69,697	354	196	158	40	1,052	536	516	△ 698	1	1
富岡市	48,325	262	150	112	32	676	349	327	△ 414	1	1
下仁田町	6,795	15	9	6	1	149	75	74	△ 134	—	—
南牧村	1,753	2	1	1	—	64	30	34	△ 62	—	—
甘楽町	12,824	75	36	39	7	163	82	81	△ 88	—	—
吾妻保健福祉事務所	53,643	271	139	132	35	867	427	440	△ 596	1	—
中之条町	15,918	89	47	42	12	277	137	140	△ 188	—	—
長野原町	5,273	20	7	13	5	82	43	39	△ 62	—	—
嬭恋村	9,542	62	32	30	8	138	70	68	△ 76	—	—
草津町	6,331	28	16	12	2	95	42	53	△ 67	—	—
高山村	3,509	24	12	12	2	53	28	25	△ 29	—	—
東吾妻町	13,070	48	25	23	6	222	107	115	△ 174	1	—

(注1) 総計の率の算出には総務省統計局推計人口(H30.10.1現在)、市町村別の率の算出には群馬県移動人口(H30.10.1)を用いている。

【市町村・保健福祉事務所別】

区 分	死 産			周産期死亡			婚姻	離婚	出 生 率	死 亡 率	自 然 増加率	乳 児 死亡率	新生児 死亡率	死 産 率	周産期 死亡率	婚 姻 率	離 婚 率
	総数	自然	人工	総数	22週 以後	早期											
総 計	288	132	156	28	22	6	8,088	2,973	6.8	12.1	△ 5.3	1.9	0.6	21.8	2.2	4.3	1.56
市 計	252	117	135	23	18	5	7,075	2,601	6.8	11.6	△ 4.8	1.8	0.6	22.0	2.0	4.3	1.57
町村計	36	15	21	5	4	1	1,013	372	5.9	12.7	△ 6.8	2.4	0.6	20.7	2.9	3.5	1.29
前橋市保健所	51	23	28	7	5	2	1,437	499	7.1	11.0	△ 4.0	1.3	0.8	21.2	3.0	4.3	1.49
前橋市	51	23	28	7	5	2	1,437	499	7.1	11.0	△ 4.0	1.3	0.8	21.2	3.0	4.3	1.49
渋川保健福祉事務所	9	3	6	1	—	1	423	153	6.7	12.8	△ 6.1	1.3	1.3	12.0	1.3	3.8	1.37
渋川市	5	2	3	1	—	1	255	95	5.6	14.4	△ 8.8	2.4	2.4	11.7	2.4	3.4	1.26
榛東村	2	—	2	—	—	—	61	18	7.7	11.3	△ 3.6	—	—	17.9	—	4.2	1.25
吉岡町	2	1	1	—	—	—	107	40	9.6	8.2	1.4	—	—	9.4	—	4.9	1.84
伊勢崎保健福祉事務所	35	20	15	7	5	2	1,240	441	7.3	9.7	△ 2.4	3.3	1.7	19.1	3.9	5.0	1.79
伊勢崎市	32	18	14	6	4	2	1,082	399	7.4	9.9	△ 2.5	3.9	1.9	20.2	3.8	5.1	1.89
玉村町	3	2	1	1	1	—	158	42	6.7	8.6	△ 1.9	—	—	12.2	4.1	4.4	1.16
高崎市保健所	61	23	38	6	6	—	1,750	560	7.4	10.8	△ 3.4	1.8	—	21.7	2.2	4.7	1.51
高崎市	61	23	38	6	6	—	1,750	560	7.4	10.8	△ 3.4	1.8	—	21.7	2.2	4.7	1.51
安中保健福祉事務所	5	3	2	—	—	—	182	91	5.0	15.1	△ 10.1	—	—	17.5	—	3.2	1.61
安中市	5	3	2	—	—	—	182	91	5.0	15.1	△ 10.1	—	—	17.5	—	3.2	1.61
藤岡保健福祉事務所	11	5	6	—	—	—	220	76	5.5	13.1	△ 7.6	2.7	—	28.8	—	3.3	1.13
藤岡市	11	5	6	—	—	—	216	75	5.6	12.5	△ 6.9	2.8	—	29.6	—	3.4	1.17
上野村	—	—	—	—	—	—	3	1	8.0	25.9	△ 17.9	—	—	—	—	2.7	0.89
神流町	—	—	—	—	—	—	1	—	1.2	28.1	△ 26.9	—	—	—	—	0.6	—
富岡保健福祉事務所	10	7	3	2	2	—	206	80	5.1	15.1	△ 10.0	2.8	2.8	27.5	5.6	3.0	1.15
富岡市	9	6	3	1	1	—	148	59	5.4	14.0	△ 8.6	3.8	3.8	33.2	3.8	3.1	1.22
下仁田町	1	1	—	1	1	—	18	5	2.2	21.9	△ 19.7	—	—	62.5	62.5	2.6	0.74
南牧村	—	—	—	—	—	—	4	1	1.1	36.5	△ 35.4	—	—	—	—	2.3	0.57
甘楽町	—	—	—	—	—	—	36	15	5.8	12.7	△ 6.9	—	—	—	—	2.8	1.17
吾妻保健福祉事務所	3	—	3	—	—	—	147	82	5.1	16.2	△ 11.1	3.7	—	10.9	—	2.7	1.53
中之条町	—	—	—	—	—	—	45	26	5.6	17.4	△ 11.8	—	—	—	—	2.8	1.63
長野原町	—	—	—	—	—	—	24	11	3.8	15.6	△ 11.8	—	—	—	—	4.6	2.09
嬭恋村	1	—	1	—	—	—	21	10	6.5	14.5	△ 8.0	—	—	15.9	—	2.2	1.05
草津町	—	—	—	—	—	—	24	11	4.4	15.0	△ 10.6	—	—	—	—	3.8	1.74
高山村	—	—	—	—	—	—	12	7	6.8	15.1	△ 8.3	—	—	—	—	3.4	1.99
東吾妻町	2	—	2	—	—	—	21	17	3.7	17.0	△ 13.3	20.8	—	40.0	—	1.6	1.30

(注1) 総計の率の算出には総務省統計局推計人口(H30.10.1現在)、市町村別の率の算出には群馬県移動人口(H30.10.1)を用いている。

【市町村・保健福祉事務所別】

区 分	人 口 30.10.1現在	出 生 数				死 亡 数			自然 増加数	乳児 死亡数 1年未満	新生児 死亡数 4週未満
		総数	男	女	2.5kg未 満(再掲)	総数	男	女			
利根沼田保健福祉事務所	79,496	425	200	225	43	1,261	634	627	△ 836	—	—
沼田市	46,543	261	125	136	25	697	356	341	△ 436	—	—
片品村	4,101	19	10	9	2	71	38	33	△ 52	—	—
川場村	3,557	15	5	10	4	50	27	23	△ 35	—	—
昭和村	7,138	51	23	28	5	106	51	55	△ 55	—	—
みなかみ町	18,157	79	37	42	7	337	162	175	△ 258	—	—
桐生保健福祉事務所	159,834	845	450	395	82	2,266	1,129	1,137	△ 1,421	—	—
桐生市	109,850	515	270	245	51	1,704	853	851	△ 1,189	—	—
みどり市	49,984	330	180	150	31	562	276	286	△ 232	—	—
太田保健福祉事務所	221,514	1,710	878	832	164	2,277	1,201	1,076	△ 567	1	—
太田市	221,514	1,710	878	832	164	2,277	1,201	1,076	△ 567	1	—
館林保健福祉事務所	179,317	1,014	543	471	93	1,990	996	994	△ 976	5	1
館林市	74,993	416	222	194	30	870	436	434	△ 454	2	—
板倉町	14,411	48	27	21	5	224	108	116	△ 176	—	—
明和町	10,969	64	32	32	6	133	59	74	△ 69	2	1
千代田町	11,103	62	36	26	9	144	67	77	△ 82	1	—
大泉町	41,692	307	160	147	34	354	195	159	△ 47	—	—
邑楽町	26,149	117	66	51	9	265	131	134	△ 148	—	—

【二次保健医療圏別】

前 橋	334,261	2,358	1,201	1,157	217	3,681	1,919	1,762	△ 1,323	3	2
渋 川	111,617	744	366	378	78	1,427	725	702	△ 683	1	—
伊 勢 崎	246,905	1,798	925	873	199	2,389	1,234	1,155	△ 591	6	3
高崎・安中	426,095	3,032	1,587	1,445	287	4,849	2,496	2,353	△ 1,817	5	—
藤 岡	67,061	371	180	191	33	878	451	427	△ 507	1	3
富 岡	69,697	354	196	158	40	1,052	536	516	△ 698	1	1
吾 妻	53,643	271	139	132	35	867	427	440	△ 596	1	—
沼 田	79,496	425	200	225	43	1,261	634	627	△ 836	—	—
桐 生	159,834	845	450	395	82	2,266	1,129	1,137	△ 1,421	—	—
太田・館林	400,831	2,724	1,421	1,303	257	4,267	2,197	2,070	△ 1,543	6	1

(注1) 総計の率の算出には総務省統計局推計人口(H30.10.1現在)、市町村別の率の算出には群馬県移動人口(H30.10.1)を用いている。

【市町村・保健福祉事務所別】

区 分	死 産			周産期死亡			婚姻	離婚	出 生 率	死 亡 率	自 然 増加率	乳 児 死亡率	新生児 死亡率	死 産 率	周産期 死亡率	婚 姻 率	離 婚 率
	総数	自然	人工	総 数	22週 以後	早期											
利根沼田保健福祉事務所	17	8	9	2	2	—	260	102	5.3	15.9	△ 10.5	—	—	38.5	4.7	3.3	1.28
沼田市	13	6	7	1	1	—	168	67	5.6	15.0	△ 9.4	—	—	47.4	3.8	3.6	1.44
片品村	1	1	—	1	1	—	12	2	4.6	17.3	△ 12.7	—	—	50.0	50.0	2.9	0.49
川場村	—	—	—	—	—	—	7	3	4.2	14.1	△ 9.8	—	—	—	—	2.0	0.84
昭和村	1	—	1	—	—	—	20	14	7.1	14.9	△ 7.7	—	—	19.2	—	2.8	1.96
みなかみ町	2	1	1	—	—	—	53	16	4.4	18.6	△ 14.2	—	—	24.7	—	2.9	0.88
桐生保健福祉事務所	25	11	14	—	—	—	542	247	5.3	14.2	△ 8.9	—	—	28.7	—	3.4	1.55
桐生市	14	7	7	—	—	—	332	154	4.7	15.5	△ 10.8	—	—	26.5	—	3.0	1.40
みどり市	11	4	7	—	—	—	210	93	6.6	11.2	△ 4.6	—	—	32.3	—	4.2	1.86
太田保健福祉事務所	29	14	15	1	1	—	1,023	389	7.7	10.3	△ 2.6	0.6	—	16.7	0.6	4.6	1.76
太田市	29	14	15	1	1	—	1,023	389	7.7	10.3	△ 2.6	0.6	—	16.7	0.6	4.6	1.76
館林保健福祉事務所	32	15	17	2	1	1	658	253	5.7	11.1	△ 5.4	4.9	1.0	30.6	2.0	3.7	1.41
館林市	11	6	5	—	—	—	272	120	5.5	11.6	△ 6.1	4.8	—	25.8	—	3.6	1.60
板倉町	2	1	1	—	—	—	25	11	3.3	15.5	△ 12.2	—	—	40.0	—	1.7	0.76
明和町	4	2	2	1	—	1	39	13	5.8	12.1	△ 6.3	31.3	15.6	58.8	15.6	3.6	1.19
千代田町	2	—	2	—	—	—	38	12	5.6	13.0	△ 7.4	16.1	—	31.3	—	3.4	1.08
大泉町	10	5	5	—	—	—	185	63	7.4	8.5	△ 1.1	—	—	31.5	—	4.4	1.51
邑楽町	3	1	2	1	1	—	99	34	4.5	10.1	△ 5.7	—	—	25.0	8.5	3.8	1.30

【二次保健医療圏別】

前 橋	51	23	28	7	5	2	1,437	499	7.1	11.0	△ 4.0	1.3	0.8	21.2	3.0	4.3	1.49
渋 川	9	3	6	1	—	1	423	153	6.7	12.8	△ 6.1	1.3	—	12.0	1.3	3.8	1.37
伊 勢 崎	35	20	15	7	5	2	1,240	441	7.3	9.7	△ 2.4	3.3	1.7	19.1	3.9	5.0	1.79
高崎・安中	66	26	40	6	6	—	1,932	651	7.1	11.4	△ 4.3	1.6	—	21.3	2.0	4.5	1.53
藤 岡	11	5	6	—	—	—	220	76	5.5	13.1	△ 7.6	2.7	8.1	28.8	—	3.3	1.13
富 岡	10	7	3	2	2	—	206	80	5.1	15.1	△ 10.0	2.8	2.8	27.5	5.6	3.0	1.15
吾 妻	3	—	3	—	—	—	147	82	5.1	16.2	△ 11.1	3.7	—	10.9	—	2.7	1.53
沼 田	17	8	9	2	2	—	260	102	5.3	15.9	△ 10.5	—	—	38.5	4.7	3.3	1.28
桐 生	25	11	14	—	—	—	542	247	5.3	14.2	△ 8.9	—	—	28.7	—	3.4	1.55
太田・館林	61	29	32	3	2	1	1,681	642	6.8	10.6	△ 3.8	2.2	0.4	21.9	1.1	4.2	1.60

(注1) 総計の率の算出には総務省統計局推計人口(H30.10.1現在)、市町村別の率の算出には群馬県移動人口(H30.10.1)を用いている。



発行	群馬県健康福祉部健康福祉課 〒371-8570 群馬県前橋市大手町一丁目一番一号
電話	027-223-1111 (代表) 027-226-2511 (健康福祉課直通)
FAX	027-243-2670